

サンゴ礁生態系保全行動計画 点検表・別表

※【具体的取組】として記載されていないが、【現状と課題】【取組の方向性】に対応する取組を予定している場合又は行った場合に記載する。

No.	実施機関	具体的取組	目標	進捗状況	進捗の達成度	今後の課題・見直しの方向性	フォローアップ会議からの提言	担当機関の対応	参考
		<p>【記入方法】</p> <p>4. 具体的な行動計画に記載されている【現状と課題】【取組の方向性】に対応するが、【具体的取組】に挙げられていない取組について、全体の概要を記載する</p> <p>※既に記載されている取組のほか、新たに開始した取組があれば追加ください。</p>	<p>【記入方法】</p> <p>取組主体が自主的に目指す具体的成果や達成時期等を記載</p>	<p>【記入方法】</p> <p>取組主体が認識している進捗状況（実施概要や成果）について記載する</p> <p>※下段に、H24年度の取組状況や成果、H25年度の取組予定などをご記入ください。</p> <p>上段は、前回照会時（H24年8月）にいただいた回答です。特に上段と下段で記載内容が変わらなければ、下段には「同上」と記載してください。</p>	<p>【記入方法】</p> <p>取組の目標に対する進捗の達成度を取組主体が自己評価（三段階評価）</p> <p>◎：達成済み ○：取組中 △：未着手</p> <p>※必要に応じ修正してください。</p>	<p>【記入方法】</p> <p>取組主体が認識している今後の取組における課題、あるいは取組見直しの方向性などについて記載する</p> <p>※必要に応じ修正してください。</p>	<p>フォローアップ会議からの提言</p> <p>記載不要 （各機関の『進捗状況』等を踏まえ、環境省から委員に、記載を依頼します。）</p>	<p>記載不要 （後日、委員の意見をふまえて、改めて照会させていただきます）</p>	<p>【参考】</p> <p>平成24年度のフォローアップ会議における委員からの意見</p>
(1) サンゴ礁生態系保全の基礎となる取組									
①調和型地域づくりのための連携の促進									
②国際的取組									
③普及啓発・人材育成									
④情報の収集・発信及びその体制の整備									
	宮崎県	海城公園内にサンゴ群集が生息する県北、県南の行政、漁協、ダイバーと宮崎大学の学識経験者を交えた連絡会議を設置している。	サンゴ群集の状況や様々な取組等の情報が共有できる体制を整備したい。	<p>平成23年度に会議を2回開催し、県北、県南の状況に応じて、それぞれ活動を進めることとした。</p> <p>平成25年度に、県南地域におけるサンゴ保全組織「日南海岸サンゴ群集保全協議会」を設立した。このことにより、県北、県南のそれぞれの地域において、サンゴ保全組織が活動し始めた。今後、それぞれの組織内での情報交換を行っていく。</p>	○	組織活動の情報発信やサンゴ保全の情報収集を行っていく必要がある。			
	鹿児島県	奄美群島の全市町村で構成する「奄美群島サンゴ礁保全対策協議会」では、サンゴ礁保全に関する情報発信、普及啓発等を行います。	奄美群島のサンゴ礁を保全する。	<p>H17に「奄美群島サンゴ礁保全対策協議会」を設置している。</p> <p>6月を「サンゴ礁保全月間」としてオニヒトデ等の一斉駆除を呼びかけた。</p> <p>同上</p>	○	サンゴ礁保全の取り組みについての情報発信を的確に行うとともに、サンゴ礁保全に関する情報収集を行う必要がある。			
	鹿児島県	本土地域の海域において、サンゴ群集の保全に関する活動を推進するため、「サンゴ群集保全推進連絡会(仮称)」を設置し、サンゴ群集保全のための活動を推進します。	サンゴ保全活動に関わりを持つ各立場の人々が、自由に情報や意見交換を行える場を設けるとともに、サンゴ保全に関する普及啓発活動等を行う。	<p>H24.3月に「サンゴ群集保全連絡会」を開催した。</p> <p>同上</p>	○	「サンゴ群集保全推進連絡会」として、サンゴ保全活動をどのように支援していくか検討する必要がある。			

(2) 持続可能なサンゴ礁生態系の利用									
①生物資源の適正な管理と利用									
②適正な観光利用									
(3) サンゴ礁生態系の保全									
①重要地域の設定と管理									
②陸域とのつながりを考えた統合的な管理									
③個別の課題に対する対策の確立									
日南市 (県補助)	海城公園地区において、サンゴを食害する生物の駆除を実施している。	被害の拡大を防止する。	平成3年度からオニヒトデ、近年はヒメノレイカ・イダマシが中心であるが、駆除を実施しており、一定の成果を上げている。 平成3年度から平成24年度まで、日南市において、オニヒトデやヒメノレイカ・イダマシの駆除を実施した。平成25年度からは県南地域で新たに設立した組織「日南海岸サンゴ群集保全協議会」により、県南地域全体での駆除などのサンゴ保全活動を実施していく。	○	海城公園区域外でオニヒトデの大量発生が確認され、副次的にサンゴ群集の存在も明らかになったため、サンゴ食害生物の駆除に加えて、サンゴ生息域の確認を行う。				
沖縄県	沖縄海岸国定公園（一部、公園外（読谷村）も含む）にて、生物多様性に配慮したサンゴ植付けの実証試験を実施している。	生物多様性に配慮された3ha相当のサンゴ群集を再生させ、効果的・効率的なサンゴ群集再生手法を確立する。	H22年度から当該事業を実施し、植付け適地選定やサンゴ種苗生産手法の検討を重ね、H25年度より実証フェーズに入り、年20,000本以上のサンゴ種苗を植付けてサンゴ群集の再生実証試験を実施している。	○	台風、高水温などの災害や環境変化による植付けサンゴへの影響が懸念される。				
沖縄県	オニヒトデの大量発生メカニズムの解明を目指した調査研究を実施している。	沖縄海域におけるオニヒトデ大量発生メカニズムを解明し、根本的なオニヒトデ対策を講じるための知見を得る。	平成24年度よりオニヒトデ総合対策事業を実施し、研究コンソーシアムを組成し、調査研究に取り組んでいる。	○	沖縄海域でのオニヒトデ大量発生メカニズムの解明を目指し、調査研究を実施する。				